

シンポジウム

特別展 「白描の美 — 図像・歌仙・物語 —」
『白描画再考 — 日本絵画史におけるその意義 —』

・ 日 時 ・

2017年 2月19日 (日) 11:00~16:30

(展覧会観覧は10:00から17:00まで)

・ 会 場 ・

大和文華館講堂

※シンポジウムの参加は無料ですが、入館料が必要です。
※入館料:一般930円、高校・大学生720円、小学・中学生無料

- ・ 定 員 ・ 150名
- ・ 主 催 ・ 美術史学会、大和文華館
- ・ 共 催 ・ 科学研究費若手研究 (B) 「中世絵画史における白描図像の位置」
科学研究費若手研究 (B) 「住吉派の総合研究—江戸時代のやまと絵の動向と関連して—」

・ プログラム ・

11:00~11:10 趣旨説明、館長挨拶

11:10~11:55 基調講演

「白描物語絵の享受と造形 — 小絵を基軸として —」

佐野みどり氏 (学習院大学教授)

(昼 食)

13:30~14:35 報 告

①「中世白描画における図像の位置 — やまと絵白描画との関わりをめぐって —」

古川攝一 (大和文華館学芸員)

②「白描歌仙絵の再検討 — 歌仙絵の起源、および「似絵」をめぐる諸問題 —」

土屋貴裕氏 (東京国立博物館主任研究員)

14:45~15:50 報 告

③「江戸時代における白描画の展開 — 住吉派と復古やまと絵派に注目して —」

宮崎もも (大和文華館学芸員)

④「近代白描画の諸相 — 白描画の終焉 —」

椎野晃史氏 (福井県立美術館学芸員)

16:00~16:30 討議・質疑応答

(司会) 河田昌之氏 (和泉市久保惣記念美術館館長)

■お問い合わせ

大 和 文 華 館

〒631-0034 奈良市学園南1-11-6

TEL(0742)45-0544

アクセス:近鉄奈良線<学園前駅>下車 徒歩約7分
駐車場(無料)あり

展 覧 会

2017年
1月6日(金)~2月19日(日)

<特別展>

白描の美
— 図像・歌仙・物語 —

